



布の印のつけ方や
接着芯の貼り方は
縫う前の下準備で
詳しく説明しているよ
まだ見たことがない
人は先に見てね!

→ 縫う前の下準備

■表 ■裏

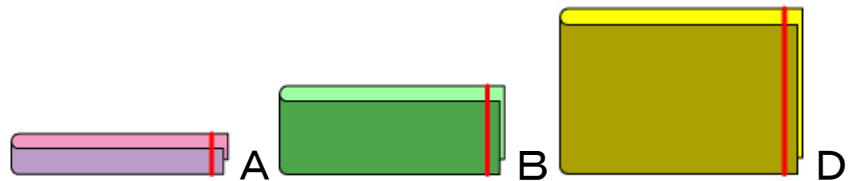
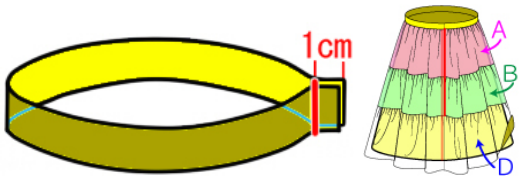
裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。

型紙に指定された場所の裏に接着芯を貼ってください。

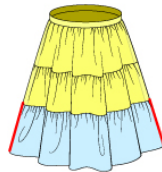
ピケなどのほつれ止め液を切る場所に塗り、乾いてから切ると、型崩れしたりよりほつれにくくなります。

ピケを塗った場合はミシンでほつれ止めはしなくてもいいです。

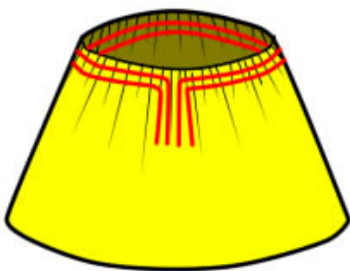
洗濯をしないのであれば、木工用ボンドを水で薄めて塗ってもほつれどめになります。



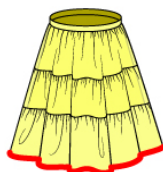
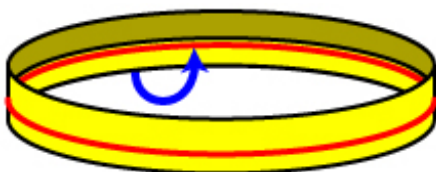
ベルトとスカートA、B、Dは半分に折って端から1cmの所を縫う。



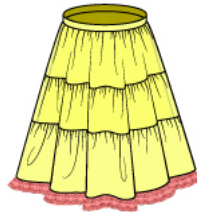
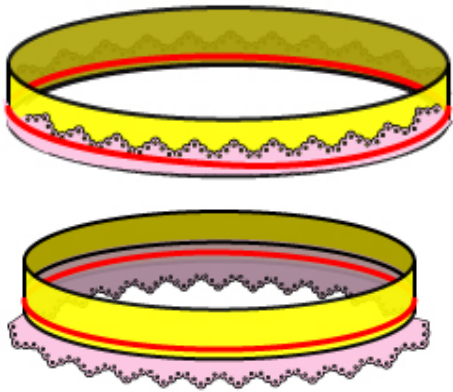
スカートCは2枚を内側が表になるように重ねる。
両方の脇を縫う。



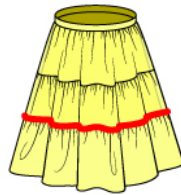
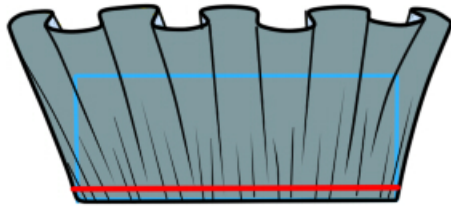
スカートBとCとCの上の縫い代にギャザーを寄る。



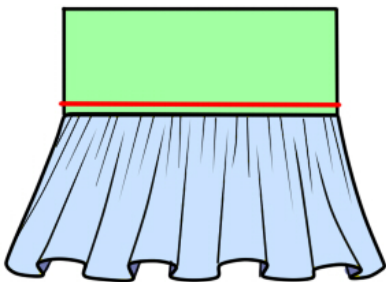
すその下側を内側に折って5mmのところを縫う。



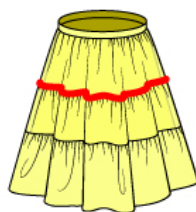
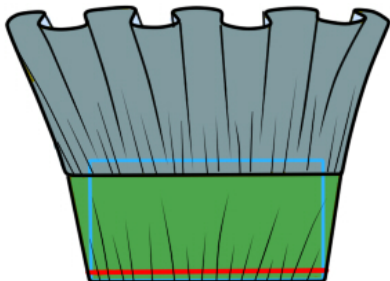
すそにフリルやレースをつける場合スカートCとレースの表同士が内側になるように重ねて縫う。



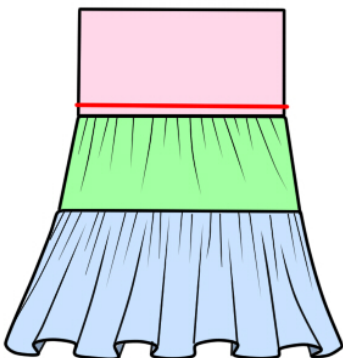
スカートBの下の縫い代にスカートCの上の縫い代を合わせる。表同士が内側になるように重ねる。このとき2段目の脇と3段目の脇、2段目の中心と3段目の中心の印を合わせて縫う。



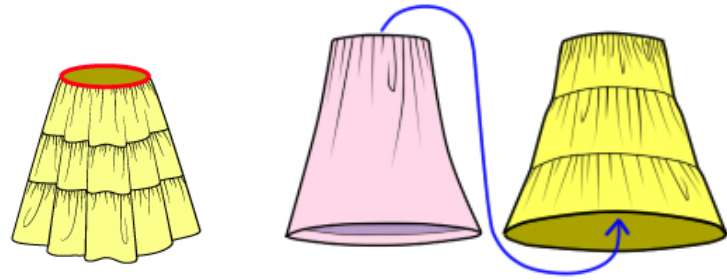
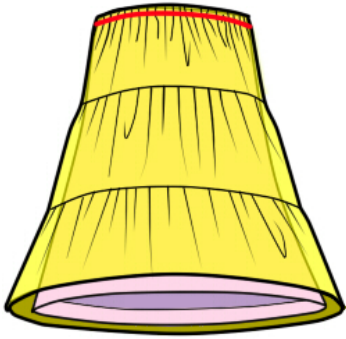
縫い代を上を折る。
縫い目から5mm位の所を縫って縫い代を固定する。



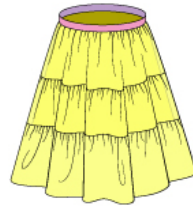
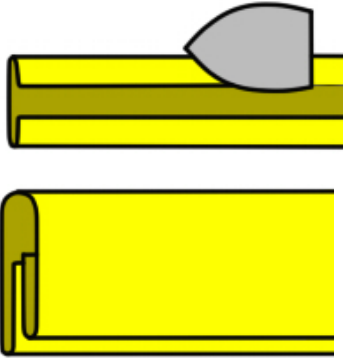
1段目の下の縫い代と2段目の上の縫い代を合わせる。



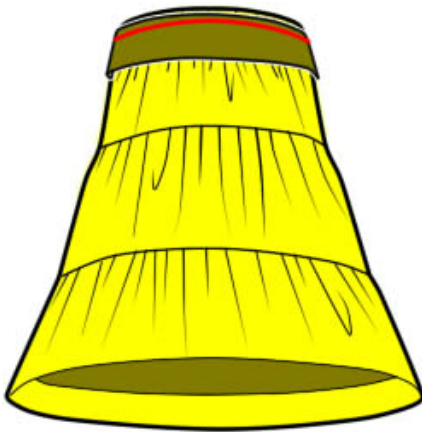
縫い代を上を折る。
縫い目から5mm位の所を縫って縫い代を固定してください。



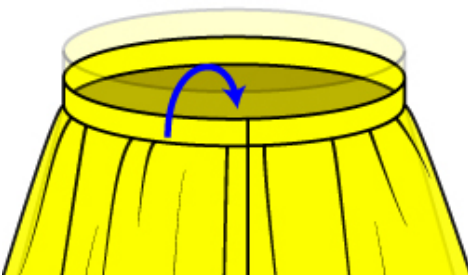
フリルDをABCの中に入れる。
上から2~3mmのところを縫って固定する。



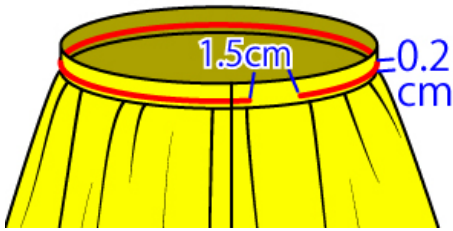
ウエストベルトの縫い代を裏側に折る。
さらに半分に折り目を付ける。



表にしたスカートの上にベルトを裏が見えるようにして重ねる。
スカートとベルトを縫う。



ベルトを起こし半分の中に入れる。



縫い目から2mmの所を縫う。
ゴムを入れる為に1.5cm縫わずにあける。
ドールに着せて緩くない程度でゴムを結ぶか縫う。
ゴムを中に入れたらゴム入れ口の上を縫う。

・ いるもの

生地、3~5mmの平ゴム（いわゆるパンツのゴム） 生地に合った色の糸

・ オススメ生地

シーチング

色柄が多くやわらかい生地 大体どこの手芸店でも買えます

ブロード

薄手の綿生地。シーチングより目が詰まっていて少し張りがあります

T Cブロード

T（ポリエステル）が入っている分綿100%よりシワになりにくいです